

Q

もうすぐ2歳になる孫ですが、食事をした後母親に促されると、さほど嫌がらずに自分で歯みがきをします。ただ、歯ブラシをくわえたまま辺りを歩いたり走り回ったりします。転んだら危ないのではないかと心配でなりません。

A

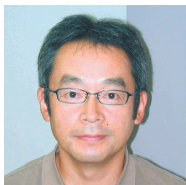
乳幼児が歯みがき中に転倒して口の中をケガする事故が多く発生しています。全国的な集計はありませんが、東京消防庁管内では、平成19年から5年の間に、乳幼児の歯みがき中の歯ブラシでの受傷事故により、229人が救急搬送されました。

事故は、のどの奥や口の中にキズがつく軽い程度のものから、のどの奥に歯ブラシが刺さって生命が脅かされる程重症なものまで様々です。

国民生活センターが行った0歳から3歳の乳幼児を持つ親に行ったアンケートによると、4分の1の乳幼児が歯ブラシによりケガをした又はケガをしそうになった経験があり、そのうち4割が1歳児で、原因は転倒が一番多かったということです。また、歯みがき中に歯ブラシをくわえたまま歩き回る乳幼児の割合は6割で、これも1歳児の割合が最も高い結果でした。さらに、こういう事故が起こることを知っていた保護者の方は20%にとどまりました。

事故を防止するためには、乳幼児が一人で歯みがきをする際、保護者の方がそばに付き添い注意を払うことが重要です。さらに以下の事を注意しましょう。

- 1) 歯ブラシを口に入れたまま歩き回らせない。
- 2) 椅子や踏み台などから転落してケガをすることもあるので、不安定な場所での歯みがきは避ける。
- 3) 人や物にぶつかってケガをすることもあるので、周囲の状況にも気をつかう。



お答え
むかわクリニック
院長 務川 靖 先生

雑記

乳幼児が歯みがき中に転んでものどの奥まで届かないよう工夫された歯ブラシが市販されています。